

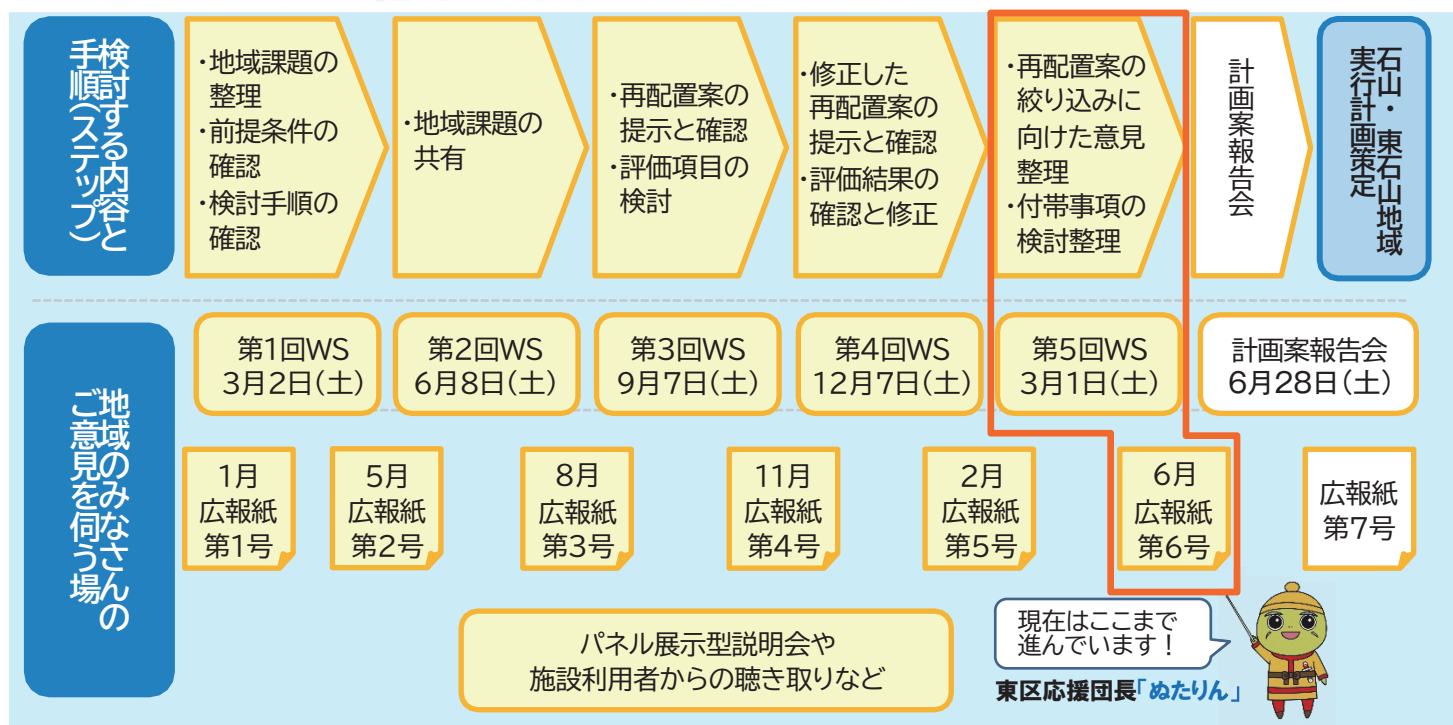
石山・東石山地域のまちづくり

<発行者> 石山・東石山地域実行計画コミュニケーション事務局 令和7年6月発行
(問い合わせ: 東区地域課: ☎025-250-2120 財務部財産活用課: ☎025-226-2387)

市では、今後必要な施設の役割を考え、将来世代に過度な負担とならないようにサービス機能をできるだけ維持しながら、公共施設の総量削減を行う計画の策定を進めています。

石山・東石山地域では、昨年3月より、地域みなさんと市が協働し、同地域内の公共施設における今後のあり方を考えています。本紙では本年3月に実施したワークショップ(WS)で検討された各再配置案に対する評価に関するご意見などを紹介します。

石山・東石山地域実行計画策定までの流れ



第5回WSは、再配置案の評価結果(案)や計画実行時に配慮すべきことについて意見整理



第5回WSの様子

3月1日に実施したWSでは、「修正された評価結果(案)に、前回の意見が反映されているか」「計画実行時に配慮すべき事項について気になる点や追加すべき点はあるか」の2つのテーマについて話し合い、意見を整理しました。

WS配付資料は市ホームページ(下の二次元コード)に掲載しています。ご覧いただき、地域みなさんも、ぜひご意見をお寄せください。

第5回WSの
概要

日時

令和7年3月1日(土) 午後1時30分～4時30分

参加者数

30人

会場

石山地区公民館



新潟市HP
第5回WS資料はコチラから
ご覧いただけます

みなさんのご意見をお寄せください

2ページ以降をご覧ください、各再配置案やその評価結果(案)等に対して、みなさんのご意見をお寄せください。

いただいたご意見は、WS参加者のみなさんのご意見と同様に今後の検討に反映させます。

<ご意見はこちらまで>

石山・東石山地域実行計画コミュニケーション事務局(東区地域課内)
〒950-8709

郵便

東区役所地域課企画・地域振興グループあて(住所不要)

FAX

025-271-8131

電子申請

新潟市オンライン申請システム
「e-NIIGATA」(右の二次元コード)



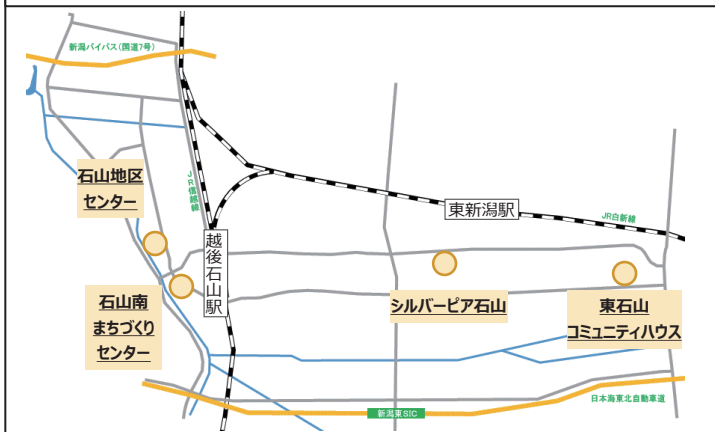
WSで検討した5つの再配置案について評価

第5回WSでは、以下の5つの再配置案の評価について、第4回WSで話し合った内容が反映されているか確認し、再度評価について話し合いました。

【5つの再配置案】

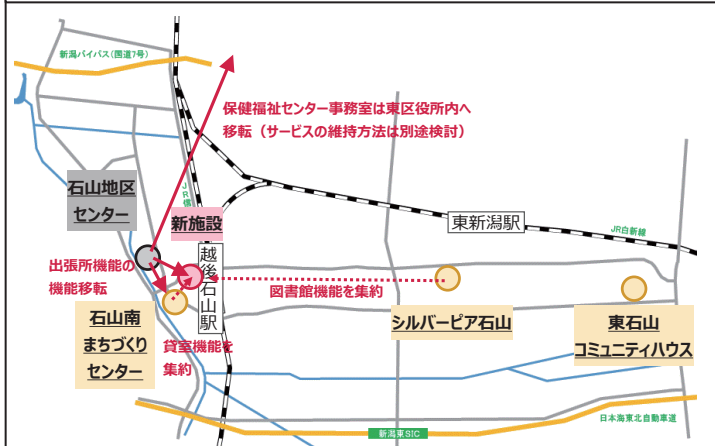
案Ⅰ 現状維持案(既存施設を有効活用)

既存施設を大規模改修し、利用しやすいようにする案



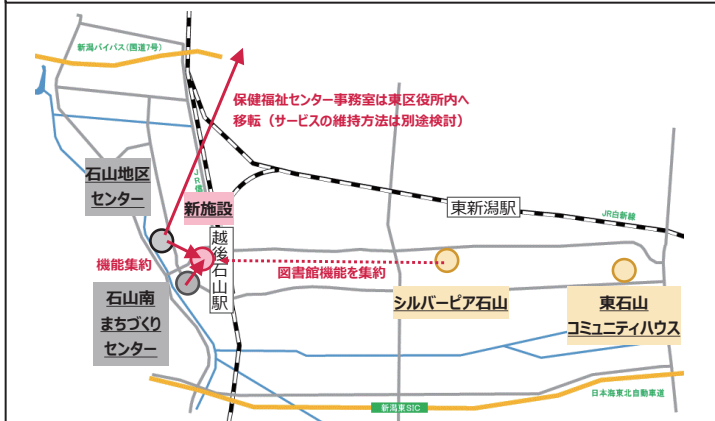
案Ⅱ 越後石山駅前に多機能拠点整備 (石山南まちセン活用・石山地区センター廃止)

新施設と石山南まちセンを組み合わせることで駅前に機能を集約し、多世代が集える多機能拠点をつくる案



案Ⅲ 越後石山駅前に多機能拠点整備 (石山南まちセン及び石山地区センター廃止)

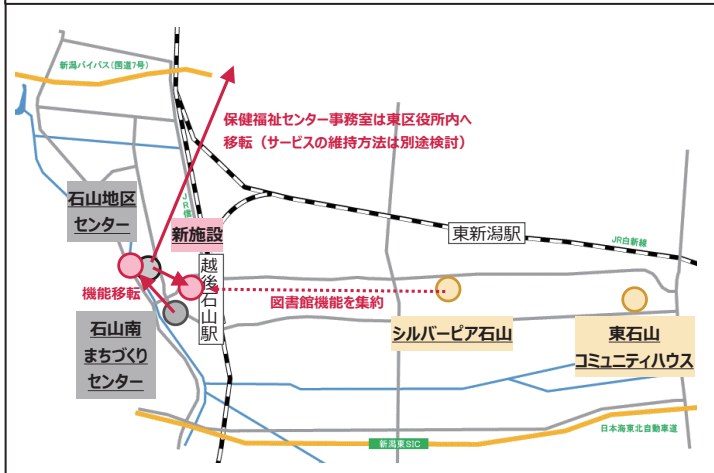
駅前の新施設に機能を集約し、施設数を削減しながら多世代が集える多機能拠点をつくる案



- 【凡例】
- 存続する施設
 - 廃止・解体する施設
 - 新設する施設
- 施設は存続するが機能は移転するもの
施設の廃止と共に機能が移転するもの

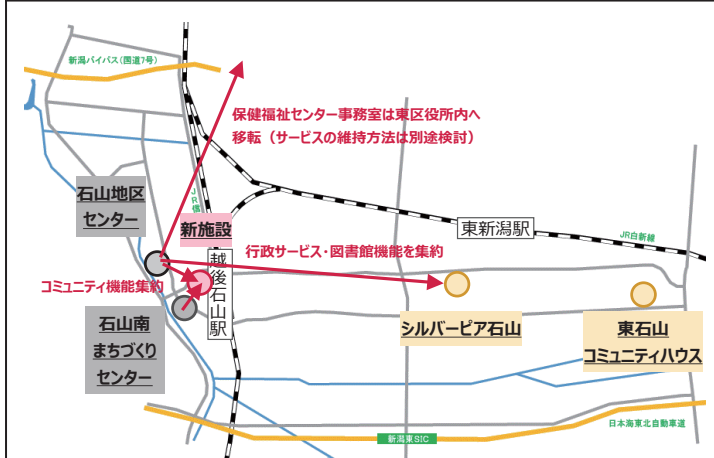
案Ⅳ 越後石山駅前に多機能拠点整備 & 石山地区センター跡地を活用し新施設整備

施設配置を維持しながら、駅前に多世代が集える多機能拠点をつくる案



案Ⅴ 地域の中心に多機能集約 (シルバーピア石山へ出張所機能を移転)

地域全体からの行政サービスへのアクセス性を向上させながら、駅前に多世代が集える施設をつくる案



WSでは、「越後石山駅前に多機能拠点を整備する」案に多くの意見が出されたよ！



【修正版】再配置案の評価結果（案）

項目ごとに現状と比較し、相対比較を行うことで評価する。凡例（◎：現状より向上 ○：現状よりやや向上

解決の狙い(上段)／評価項目(下段)	案Ⅰ	案Ⅱ
①過度な財政負担が将来世代に残らない ・今後30年間の施設に関するコスト※を削減できるか ※一定の条件で試算したもので、実際のコスト削減効果は変動する可能性があります。	— ・現状維持する場合と同様に、同じ施設面積を大規模改修することから、30年間のコストは現状維持と同額の約96億円（試算値）となっている。	◎ ・現状維持の約96億円に対し、約19億円のコスト削減の見込み。
②アクセスしやすい公共施設配置とする ・地域内のどの場所からもアクセスが良いか ・公共施設への、車でのアクセスが良いか ・駐車場のスペースが確保できるか ・多様な交通手段(区バス等)によるアクセスが良いか ・石山、東石山地域の中央に図書館、出張所機能が集約された施設があるか	—	○
P5「アクセス性に関する評価の詳細」のとおりに		
③施設機能が集約されている ・1つの施設、またはその周辺に機能が集約されているか	— ・現状と同様	○ ・施設数は変わらないが、駅前のエリアに施設が集約される。
④体を動かせる屋内スペースを維持する ・運動ができるなど、多目的に利用できる屋内スペースが確保されているか	— ・現状と同様	— ・新施設に公民館のホールと同程度の部屋が設置される。
⑤多世代が集いやすい場所を拡充する ・施設のバリアフリーは十分か ・多世代(子育て世代、小中高生、学生、高齢者等)が利用しやすい機能(学習スペース・フリースペース)を有しているか ・多世代が利用する機能が一つの施設に集まっているか	○ ・石山地区センターとシルバーピアに学習スペースやフリースペースを設置することから、構造や設備の制約があるため、配置などに一定の制限がある。	◎ ・新施設の設計は、バリアフリーの配慮や、多世代が利用しやすい機能の整備など、効率的で利便性の高い工夫ができる。 ・シルバーピアは案Ⅰと同様。 ・越後石山駅前に機能集約されることで、多世代が集いやすい場所になる。
⑥現状のサービスを維持・向上できる ・再編後も同じように現状のサービスが維持できるか ・再編後も同じように諸室を利用した活動ができるか ・サービス機能が向上する可能性があるか	○ ・再編後は風呂以外のすべてのサービスが提供され、施設数が現状と変わらないため、同様な利用が可能である。風呂廃止後は多世代が利用しやすい機能を設置。 ・可動間仕切り等の導入や、運用方法の改善等でサービス機能が向上する可能性がある。一方で、構造や設備の制約があるため、改善に制限がある。	◎ ・再編後は風呂以外のすべてのサービスが提供され、新施設は現状より面積が縮小するが、共用部の削減等により同様の活動ができるようにする。風呂廃止後は多世代が利用しやすい機能を設置。 ・可動間仕切り等の導入や、運用方法の改善等でサービス機能が向上する可能性がある。
⑦防災機能を維持する ・既存の指定避難所が維持できるか	○ ・指定避難所である各小・中学校、シルバーピアの変更なし。シルバーピアの浴室を貸室等にするこ とで、避難受入れ人数の増加の可能性 がある。	○ ・指定避難所である各小・中学校、シルバーピアの変更なし。シルバーピアの浴室を貸室等にするこ とで、避難受入れ人数の増加の可能性 がある。

一：現状維持（一長一短） △：現状よりやや低下 ×：現状より低下）

案Ⅲ	案Ⅳ	案Ⅴ
◎ ・現状維持の約96億円に対し、約18億円のコスト削減の見込み。	○ ・現状維持の約96億円に対し、約15億円のコスト削減の見込み。	△* ・*現在のサービスを維持する（貸室の確保など）場合はシルバーピアの増築などのコストが増加するため、コスト削減の効果が薄くなる（またはなくなる）。
○	○	○
P5「アクセス性に関する評価の詳細」 のとおり		
◎ ・地域内の機能を集約・複合した多機能拠点施設が整備される。	— ・多機能拠点施設を新設するが、石山地区センター跡地にも施設を整備するため、集約されない。	○ ・シルバーピアを多機能拠点施設に改修するが、貸室が一部削減される。
— ・新施設に公民館のホールと同程度の部屋が設置される。	— ・新施設に公民館のホールと同程度の部屋が設置される。	— ・新施設に公民館のホールと同程度の部屋が設置される。
◎ ・新施設の設計は、バリアフリーの配慮や、多世代が利用しやすい機能の整備など、効率的で利便性の高い工夫ができる。 ・シルバーピアは案Ⅰと同様。 ・越後石山駅前に機能集約されることで、多世代が集いやすい場所になる。	○ ・駅前の新施設の設計は、バリアフリーの配慮や、多世代が利用しやすい機能の整備など、効率的で利便性の高い工夫ができる。 ・シルバーピアは案Ⅰと同様。	○ ・新施設の設計は、バリアフリーの配慮や、多世代が利用しやすい機能の整備など、効率的で利便性の高い工夫ができる。 ・シルバーピアは既存施設を活用し、出張所の移転や図書館の集約があることから、面積に制約があり、一定の制限がある。
◎ ・再編後は風呂以外のすべてのサービスが提供され、新施設は現状より面積が縮小するが、共用部の削減等により同様の活動ができるようにする。風呂廃止後は多世代が利用しやすい機能を設置。 ・可動間仕切り等の導入や、運用方法の改善等でサービス機能が向上する可能性がある。	◎ ・再編後は風呂以外のすべてのサービスが提供され、新施設は現状より面積が縮小するが、共用部の削減等により同様の活動ができるようにする。風呂廃止後は多世代が利用しやすい機能を設置。 ・可動間仕切り等の導入や、運用方法の改善等でサービス機能が向上する可能性がある。	△ ・再編後は風呂以外のすべてのサービスが提供されるが、シルバーピアは出張所や図書館が入り、風呂廃止後のスペースを利用しても貸室が減少する。 ・可動間仕切り等の導入や、運用方法の改善等でサービス機能が向上する可能性がある。一方で、構造や設備の制約があるため、改善に制限がある。
○ ・指定避難所である各小・中学校、シルバーピアの変更なし。シルバーピアの浴室を貸室等にすることで、避難受入れ人数の増加の可能性がある。	○ ・指定避難所である各小・中学校、シルバーピアの変更なし。シルバーピアの浴室を貸室等にすることで、避難受入れ人数の増加の可能性がある。	△ ・指定避難所である各小・中学校は維持するが、シルバーピアは出張所機能をもつことで、指定避難所の解除が必要か検討されるため、避難受け入れ人数が減る可能性がある。

アクセシ性に関する評価の詳細

解決の狙い(上段)／ 評価項目(下段)	案Ⅰ	案Ⅱ	案Ⅲ	案Ⅳ	案Ⅴ
②アクセスしやすい 公共施設配置とする	— (現状維持)	○	○	○	○
・地域内のどの場所 からもアクセスが良 いか	・現状と同様のため、ア クセシ性は変わらな い。	・石山地区センターが廃 止となるが、同じ江南 小学校区内に新施設 が設置されるため、ア クセシ性は変わらない。	・石山地区センターが廃 止となるが、同じ江南 小学校区内に新施設 が設置されるため、ア クセシ性は変わらない。	・施設配置は現状とほぼ 変わらないため、ア クセシ性は変わらない。	・石山地区センターが廃 止となるが、同じ江南 小学校区内に新施設 が設置されるため、ア クセシ性は変わらない。
・駐車場のスペース が確保できるか	・現状と同様。石山地 区センターの駐車場 の狭隘化と借地の継 続の課題が残る。	・新施設の駐車場スペ ースは、園芸センター記 念公園を活用できる。	・新施設の駐車場スペ ースは、園芸センター記 念公園や石山南まちセ ンの跡地を活用できる。	・新施設の駐車場スペ ースは、園芸センター記 念公園や石山南まちセ ンの跡地を活用できる。	・シルバーピアは、多機 能化による利用者増に 対して駐車場が不足す る可能性があるが、確 保可能な用地がない。
・車のアクセスが良 いか	・現状と同様。車で のアクセスは可能。	・機能が集約される新 施設は幹線道路に面し ていない。	・機能が集約される新 施設は幹線道路に面し ていない。	・現状と同様。車で のアクセスは可能。	・機能が集約されるシル バーピア石山は幹線道 路に面していない。
・多様な交通手段に よるアクセスが良 いか	・現状と同様のため、 多様な交通手段でア クセシ性は可能。	・行政サービスが駅前 に移転し、電車、路線バ ス、区バスなどのア クセシ性が向上する。	・行政サービスが駅前 に移転し、電車、路線バ ス、区バスなどのア クセシ性が向上する。	・行政サービスが駅前 に移転し、電車、路線バ ス、区バスなどのア クセシ性が向上する。	・行政サービスの移転 で、電車、路線バス、区 バスなどのアクセス性 が向上する。(最寄り駅 は東新潟駅)
・石山、東石山地域 の中央に図書館、出張 所機能が集約され た施設があるか	・現状と同様。(図書 館、出張所機能が石山・ 東石山地域の西より にある。)	・図書館、出張所機能 が石山・東石山地域の 西にある。	・図書館、出張所機能 が石山・東石山地域の 西にある。	・図書館、出張所機能 が石山・東石山地域の 西にある。	・地理的に石山・東石 山地域の中央付近に位 置するシルバーピア石 山に図書館、出張所機 能が集約されている。

計画を実行する際に配慮すべき事項（付帯事項）

付帯事項	WSで出た意見の要約
①施設を快適に利用するための設備	・Wi-Fiを整備し、学生などが使えると利用が増えるのでは。 ・冷暖房等を改善し、適切な状態で施設を維持してほしい。
②どの世代でも親しみのある施設名称	・シルバーピア石山の「シルバー」という名称が、高齢者のための施設という イメージがある。
③民間活力の導入の検討	・民間活用を考えていく必要がある。
④施設へのアクセスの検討	・駅前の新施設に多くの機能を集約するなら、周辺の道路整備も併せて検 討できるとよい。
⑤適正規模の駐車場の設置・管理	・十分な駐車場が確保できるかを検討した上で、立地を考えてほしい。 ・駅前の新施設は、施設利用者以外の駐車が増えるのではないかな。
⑥園芸センター記念公園の緑地維持	・貴重な緑地であり交流の場として使えるくらいのスペースは残してほしい。 ・管理できる規模に縮小し、きれいに公園の花を管理してほしい。

評価結果（案）に対する意見

①再配置案全般について

- ・これまでの意見がしっかり反映されている案で評価結果も異論はない。
- ・物価や建築材料が高騰しているが、整備する時になって予算が足りなくて整備ができなくならないように、社会の動向、財政のことを第一に考えて案を検討してほしい。

②再配置案Ⅱ・Ⅲ（共通意見）

- ・人口減少が進む中で、公共施設を集約していくことは必要不可欠だと思うため、「施設機能が集約されているか」は重要な評価項目だと思う。また、新しい施設を二つ建てるより一つに集約して充実した建物にしたほうが、人件費や維持管理費の面からも良いはずなので、案Ⅱ、Ⅲが望ましいのではないかな。将来を担う世代に負担を残さないようにしたい。

評価結果（案）に対する意見（つづき）

- ・案Ⅳは、市が運営する公民館の貸室等と、地域のコミュニティ協議会が運営するコミュニティセンターが二つに分かれる可能性があるが、将来的に運営の効率化で運営主体をどちらか一つにすることを検討することもあるかもしれない。フレキシブル、かつ、効率的な運営を見据えて、新施設は1カ所にまとめた案Ⅱか案Ⅲにしておいた方が良いと思う。
- ・石山南まちづくりセンター（の施設）が残る案Ⅱと廃止される案Ⅲとで園芸センター記念公園の残る面積が変わるということであれば、公園がより広く残る案の方にしてほしい。
- ・多世代交流は今後、地域活動で大切にしていきたいため、「多世代が集いやすい場所を拡充する」の評価項目の評価が高い案Ⅱか案Ⅲが良い。

③再配置案Ⅱ・Ⅳ（共通意見）

- ・案Ⅲは、駐車場を確保するために園芸センター記念公園のほとんどの地を使うことになるかもしれないため、今ある公園の緑がなくなることは避けたい。案Ⅱか案Ⅳが良いのではないかな。
- ・案Ⅲは、駐車場が十分に確保できないのではないかな。案Ⅱ・案Ⅳのように施設を分けて、人も分散させることで駐車場を確保できるようにしたほうがよいのではないかな。

④再配置案Ⅰ

- ・施設数を減らすことでコスト削減に繋がることは理解できたが、耐震工事を行なっている石山地区センターを廃止し、解体してしまっているのか。もったいないという気持ちがある。拠点として残したい。

⑤再配置案Ⅱ

- ・評価項目でみると、財政負担は案Ⅱ、案Ⅲともあまり差がないため、より住民へのサービス向上に繋がる案を選びたい。案Ⅱの石山南まちづくりセンターに出張所機能が移転する案は、新施設に全ての機能を集約する案Ⅲよりは利用の混雑を回避できると思う。評価項目も「施設機能が集約されるか」だけでなく「利用混雑を分散・回避できるか」を入れてほしい。
- ・石山南まちづくりセンターに出張所機能を移転するとなると、新施設の整備費のほかに石山南まちづくりセンターの改築費の予算を確保する必要があるのではないかな。また、そう遠くない将来に石山南まちづくりセンターを改築しなくてはならない時期がきて、余計なお金がかかるのではないかな。
- ・石山南まちづくりセンターの建物に出張所機能を移転するとなると、駅前の新施設が案Ⅲより広く使えない可能性が高いのではないかな。

⑥再配置案Ⅲ

- ・図書館、貸室、出張所等の機能が集約された施設を整備することは便利になるので、「施設機能が集約されている」という視点は大切だと思う。また、出張所は将来的にIT化やAI化が進み、窓口機能も効率化して規模が縮小されることが予想される。新施設に出張所を集約しておいたほうが、将来的には使用しなくなった出張所スペースを貸室にしたり、地域のコミュニティのために使用したり、建物の用途変更の可能性がひろがるため、案Ⅲがよいのではないかな。
- ・園芸センター記念公園の一部を駐車場に使うことができ、広く台数を確保できそうなので、案Ⅲが良いと思う。
- ・案Ⅲになると、敷地面積の関係で高層階になり、駅前の景観が損なわれる可能性がある。住宅地も多いので賛成しない人もいるのではないかな。

⑦再配置案Ⅳ

- ・市の説明だと石山地区センターが廃止された場合、跡地は売却される可能性が高そうだが、それは残念な気持ちがある。規模が小さくなったとしても、石山地区センター跡地に地区のコミュニティの拠点が残る案Ⅳは評価できる。

⑧再配置案Ⅴ

- ・「アクセスしやすい公共施設配置とする」の評価項目の一つである「地域内のどの場所からもアクセスが良いか」で、案の内容が異なるにも関わらず、案Ⅴの評価結果の文言が案Ⅱと案Ⅲで同じ理由なのかわからない。きちんと評価がされていないのではないかなという疑念を生むので表現を変えた方がよいと思う。

評価結果（案）に対するその他の意見や、再編実行時に配慮すべき事項に対する意見等は、右の二次元コードから市HPでご覧いただけます。



全5回のWSに対する事務局総括 （評価結果に基づく施設再編の方向性）

WSでは、越後石山駅前に新施設を整備する案Ⅱ・Ⅲ・Ⅳに対する評価が高かった印象です。また、園芸センター記念公園の維持や駐車場の確保、アクセスに関して多くの貴重なご意見もいただきました。こうした意見に加え、今後地域から寄せられる意見も大事にしながら、計画（案）を事務局で作成し、報告会にて説明させていただきます。

石山・東石山地域実行計画
コミュニケーション事務局



～石山・東石山地域実行計画（案）報告会のご案内～

昨年3月より、地域のみなさんと検討を重ねてきた石山・東石山地域の公共施設の今後のあり方を示す「石山・東石山地域実行計画」（案）に関する報告会を以下のとおり開催します。

- 日時：6/28（土） 10：00～ 1時間程度
- 対象・定員：どなたでも・55名程度
- 会場：石山地区公民館 4階 ホール
- 申込み：不要（直接会場へお越しください）

※駐車場に限りがありますので、乗り合わせや公共交通機関でのご来場にご協力ください。